たかさご新聞

高砂大学校入学式挨拶

同窓会会長
113期一組　小野　隆

第117期高砂大学校、ご入学おめでとうございます。

ただいまご紹介いただきました私、113期1組の小野でございます。昨年4月より高砂大学校同窓会の会長に就任し、職務遂行に努めております。

さて同窓会の大きな目的は「会員の皆様の親睦と健康増進をはかるとともに社会の進展に寄与すること」でございます。私は高砂大学校に入学したとき、事務局より「手引き」というマニュアルをいただき。その中で「人は出会って知人となり、語り合って友人となり、活動しながら仲間となる」の言葉があり人生はその通りだと思いました。

現在同窓会加入会員者は1940名、61のグループで延べ約2500名の皆様が利用、活動されております。グループの内容につきましては、俳句、川柳、歌、楽器、踊り、その他たくさんの興味あるグループがあり、活動され、仲間となって日々楽しんでいらっしゃいます。

今年は同窓会創立60周年を迎えます。その記念すべき多様な計画も準備中でございます。皆様が高砂大学校の講座を受講修了されましたとき、是非同窓会に加入いただき、ご自分の人生の生きがいを見いだされ、今後の人生を「明るく楽しくそして笑顔」で過ごしていただくため、皆様と一緒になって同窓会のより良い運営を目指し、盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上で私の本日の挨拶とさせて頂きます。おめでとうございます。

会長　モットー
明るく楽しく
そして笑顔で

創立６０周年記念に向けて第１回グループ代表者懇談会開かれる

令和5年4月24日（月）第1回グループ代表者懇談会が彦三館大研修室にて午後1時半より開催されました。当日は各グループ代表者71名の出席のもと行われ小野会長より挨拶があり令和5年の年間行事計画について総会、クラス会長会での概要の説明がありました。

担当の石野副会長より近づいている6月6日実施の「体育まつり」の詳細の説明があり、上野副会長より8月1日～2日実施の「作品展」の協力依頼と説明が、演芸発表会担当の松田副会長より10月18日実施の「演芸発表会」は昨年度同様であり、各グループへの出演要請と協力の依頼などがありました。

また今年度行われる行事は創立60周年記念と銘打って実施するとの説明が事務局よりありました。

5月2日開催されるリーダー研修会は村山金沢市長の講演となり「リーダーに求められること」の演題で行われるので多数の出席のお願いもありました。

「たかさご新聞」及び「同窓会だより」への原稿の投稿についてこれまで同様、積極的に協力戴きたいとのことでした。

9月21日実施される「長寿の祝い」について堂前副会長より移行措置について詳細に説明がありました。

創立60周年記念の記念式典や記念行事については詳細な説明もあり記念ランチパーティへの参加依頼も行われました。また、グループの講師への記念式典での感謝状贈呈について基準に基づき報告してほしい旨、依頼がありました。

新発足した「高砂かがやき懐メロクラブ」からの代表挨拶とグループの紹介がありました。そのあと、意見交換が行われグループの現状や課題などについていくつかのグループより報告があり、今後も今以上に前向きに取り組む必要があるとの指摘もありました。

お忙しい中、グループ代表の多数の参加を戴きありがとうございました。

創立60周年記念行事始まる

発　行
高砂大学校同窓会
会長　小野　隆
〒920-0901
金沢市彦三町1-15-5
金沢中央公民館2F
TEL(076)261-8101
FAX(076)261-8149
(HP)http://www.takasagoob.net

QR コードで
ホームページへ

リーダー研修会講演を聴講して

同窓会理事
114期一組　田中　清之

令和5年同窓会行事のスタートとしてリーダー研修会を5月2日（火）中央公民館彦三館3階大研修室にて実施、昨年までは、大学院ＯＢ歴史会と共催で実施していましたが、本年は同窓会単独主催として講師、村山卓金沢市長に「リーダーに求められること」と題して講演をいただきました。

コロナ禍が減少し、行動制限がない状態ですが、ゴールデンウィークの為か、約100名参加でメモを取りながら約一時間の内容に聞き入りました。

村山市長は昭和47年生まれで50才です。幼少3才よりフルート・ピアノ等を習い音楽家フルート奏者にと思ったが、フルート奏者は女性が中心で、それではオーケストラの指揮者にと思ったが職業としては生活できず、趣味としてとどめ、現在は金沢市民管弦楽団に所属フルート奏者として在籍して、「風と緑の楽都音楽祭2023」にホテル日航金沢やNAクラウンホテル金沢に夫婦で出演していました。

市長の経歴を拝観し指導者（リーダー）として大変感銘致しました。

平成8年慶応義塾大学を卒業し、自治省（現総務省）に入省、仙台市経済局産学連携推進課長、愛媛県市長村課長、川崎市財務部長、香川県香川大学大学院地域マネジメント研究科等を経て平成31年に金沢市副市長に就任し令和4年2月迄勤め、令和4年4月に市長選に勝利し現在に至っています。

金沢市政の系譜として山出市政…二十一世紀美術館や金沢駅鼓門の建築等（文化の質向上・深掘り）山野市政…スポーツ文化・建築文化等（文化の幅の拡がり）村山市政…コロナ禍で「心の豊かさ」が問われる時代人気を集める金沢マラソンについては、今年は定員を13000人に増加して実施。金沢美術工芸大学の新設移転。卯辰山工芸工房を中心の工芸都市。邦楽とオーケストラ、アンサンブル金沢が共存する街作り。学都文化都市等をキーワードとして市政運営を語って約一時間の講演を終了しました。

また、リーダー研修会の後、彦三公民館玄関前庭において、高砂大学校同窓会創立60周年事業の最初の行事として、枝垂れ桜の記念植樹がおこなわれ、藤家利重中央公民館館長、田鶴直人中央公民館彦三館館長、小野隆同窓会会長、泉屋和雄同窓会事務局長の順で鍬入れが行われた。

令和5年度高砂一座総会開催

高砂一座事務局長
112期3組　松田　寛

去る5月9日（火）彦三公民館第1会議室において、小野座長、泉屋副座長、福田副座長および加入各グループ代表者の参加を得て令和5年度の高砂一座総会が開催された。

令和4年度の活動報告としては、前年度に引き続いてコロナ禍の中、思う様に活動しづらい環境でしたが、地域公民館、高砂大学校同窓会活動、市の公民館フェア、クラス会、グループ会などの依頼で種々の活動が行われたことが報告された。また令和4年12月に行われたアンケートから加入グループの希望が発表の場がほしいこと、会場までの移動手段（交通費）の補助が必要であることが確認された。

令和5年度の審議事項としては役員の一部変更、それに伴い規約の一部改訂、令和5年度の主な事業計画等が審議了承された。また前年度アンケートの要望を具体化するため高砂一座加入グループによる発表会を開催すること、交通費の一部支給に関する試験的運用を行うこと、同窓会内外に対して高砂一座の認知度を高めるための方策などが審議され、原案通り了承された。

今年はコロナ禍期間中十

創立６０周年記念行事
記念植樹　5月2日（火）
第43回すこやか体育まつり　6月6日（火）
第41回作品発表会　8月1・2日（火・水）
記念式典・コンサート　8月20日（日）
記念ランチパーティー　8月20日（日）
第45回生きがい演芸発表会　10月18日（水）
記念誌発行　１２月中（予定）

分に活動できなかった高砂一座を再始動したいという思いで、同窓会内外に「高砂一座」の認知度を高めたい。そのため「第1回高砂一座発表会」を6月22日（木）午前10時から金沢駅もてなしドーム地下広場にて開催します。

その模様を新聞、ホームページ、公民館の掲示板などを通して同窓会会員に「高砂一座」の存在を認識してもらいたいと思っています。クラス会でもグループ会でも、大勢の方が集まるシーンでの余興として「高砂一座」を是非ご利用いただきたいと思います。

また高砂一座加入グループの詳細を紹介したパンフレットを作製し、そのパンフレットをクラス会長、グループ代表者に配布して、様々な会合で高砂一座の発表の機会を増やす助けにしたいと思います。更にこの「パンフレット」を用いて同窓会外の組織、例えば地域の公民館や地域の包括支援センター等を通じて老人施設などに配布、お知らせすることによって、一座を利用しやすい仕組みを築いていきたいと思っています。

「体育まつり」へ行こう！
6月6日（火）午前10時から午後2時
プログラムと会員証と内履を持って市総合体育館（泉野出町）へ集合！

月刊北國アクタス「ニコニコ100歳・対談」取材を受ける

5月15日（月）午前10時から彦三公民館第1会議室に於いて、月刊北國アクタス編集長の大田こころ氏の進行、金沢先進医学センター理事長の富田勝郎氏をナビゲーターとして取材が行われた。

高砂大学校同窓会からは高橋多満子さん（74期103歳）、寺尾照子さん（86期96歳）、鈴木雅夫さん（111期95歳）のお三方に加えて同窓会会長の小野隆が対談に加わった。

高齢者が元気で活躍されている秘訣などが話し合われたようだが、内容は6月20日発売の北國アクタス7月号をご覧下さい。

第1回役員選考委員会開催

5月10日（水）午前10時より彦三館第2会議室にて令和6年度の役員選出のための第1回役員選考委員会が開催されました。

選考委員には111期から116期のクラス会長が選考委員に当たることになり選考委員18名及び同窓会役員7名が出席しての初会合となりました。

高砂同窓会が現在抱える課題の説明、選考に関するいて説明がありそれらを受けて会合が行われました。選考に当たっては小委員会を設けること、選考委員会の役員等についても話し合われました。

高砂ダンス教室の紹介

高砂ダンス教室副会長
106期1組　坂下　啓子

高砂ダンス教室は現在59名の会員がいます。講師は小川清美先生と松田幸一先生のお2人です。彦三館3階大研修室で毎週日曜日、午後3回、午前1回の月4回のレッスンをしています。科目は初級のワルツ・タンゴ、中級のワルツ・タンゴ、ラテン種目のルンバ・チャチャチャになります。5月からはサンバも加える予定です。

1回の練習風景はまずラジオ体操で身体をほぐし、2時間半で初級のワルツ、ラテンのルンバ、中級のタンゴを1ヶ月間練習します。次の月は初級のタンゴ、中級のワルツ、ラテンのチャチャチャの練習です。この繰り返しなので自然と身体が覚えていきます。

年間行事としては春の新入会員歓迎1泊温泉研修、高砂生きがい演芸発表会参加、先生の教室の発表会参加、秋の1泊懇親会、クリスマスパーティなどを予定しています。

社交ダンスは男女ペアで踊るため、1つ1つのステップを足の出す位置、身体の向きなど先生が細かいところまで丁寧に指導して下さるのでお互いの姿勢も良くなり、気持ちよく踊ることができます。

背筋をピンと伸ばし、胸を張ってお腹を引っ込めて、肩の力を抜いて、皆様も楽しくステップを踏んでみませんか。10歳は若返りましょう！！

入会をお待ちしています。

「何でも作ってみたい」が大好きな人たちが集まった「ものづくり会」

高砂ものづくり会代表
115期3組　中條屋　千栄子

令和4年10月に発足して半年が経ちました。月1回の活動なので、まだ手探り状態ですが、会員数10名から始めて現在22名になりました。友人に誘われて、見学に参加。その日に入会のパターンが多いです。手作りが基本なので、簡単な物を用意しています。結果、当日参加が可能です。

令和4年12月7日（水）の活動をご紹介します。「水引き細工の正月飾り」をしました。先生は小野雅子さんにお願いしました。

小野先生はものづくりが大好きで、出来た作品を友人達にプレゼントしてよろこんでもらうのが大好きな人です。水引飾りもその一つ。簡単そうに見える水引ですが、それは誤りです。

当日、1時半に集合。説明を聞きながら、「あわじ結び」に挑戦。シーンとした会場で先生の声だけが聞こえる時間が30分程度続き、「出来た」と声が出た頃、皆さんも出来たようです。

その後、その淡路結びを「梅の花」「鶴」に変形して、「松葉」を作り終え、その間、先生は大忙しでした。皆さん形にこだわらなければ、それなりに出来上がったようです。90センチの水引を果たして、グルリと和に結び台を作って、梅の花、松、鶴を飾り付けます。

我家は玄関飾りにて楽しみましたが、会員の方は玄関内の生花の横に掛けたり、床飾りとして楽しまれたようです。

先生から一階事務所と二階同窓会事務所にプレゼントしてくださったので、ご覧になった方もおられるかもしれません。正月中だったので残念なことに私は見ることが出来ませんでした。他に三つ程作って友人にプレゼントしました。

いけばな『はな蕾』展開催

高砂生け花クラブ代表
110期2組　平田　さき子

嵯峨御流華道北陸司所のいけばな展『はな蕾』が令和5年4月22日（土）10時～13時、4月23日（日）10時～17時に金沢エムザ2階ギャラリーで開かれました。

会員出瓶者大作、中作9人、普通作19人、高砂生け花クラブから高木晴美さん、矢戸慶子さんが出品されました。ステキな作品ばかりでした。

また8月1日、2日に第41回作品発表会が開催されます。

106期3組クラス会総会議事後に民話で交流促進

106期3組　会長　轟　健正

令和五年度の総会を4月26日（水）に行いました。年度の初めでもあり、昨年に引き続き、小野会長からご挨拶を頂き、モットー「明るく、楽しく、そして笑顔で」への理解を深め、本部との関係を一層密に、活動することを確認しました。

併せて、今年度、同窓会創立60周年、クラス発足11年目を機に、新時代にふさわしいクラスのあり方を模索することとしました。

また、①クラスの雰囲気に合った行事、②会員への様子伺いによるコロナ鬱予防、③本部事業のいち早い連絡と期限厳守・積極的参加を申し合わせました。

続いて議事に入り、予定議題について全て原案どおり可決しました。

その後、民話研究家の田村育子さんから、室生犀星の短編小説と天狗の鼻の昔話を語って頂き、和やかで心温まるひと時を過ごしました。これまで、高砂草笛愛好会や高砂琴路会、紙芝居や認知症予防講話等を企画しましたが、今回、民話を取り入れたものです。

今年度も会員の個性に合った新しい試みに挑戦し、クラス充実につなぎたいと思います。

祝創立60周年

高砂高謡会発表会

高砂高謡会　会長
105期3組　宮崎　修

高砂謡曲教室高謡会では去る4月26日（水）県立能楽堂にて発表会を開催しました。

毎週金曜日と水曜日に宝生流シテ方の田谷邦夫先生の下、1年間稽古に励んできました。その結果をそれぞれ男子3組、女子3組が正装で舞台に上がり練習の成果を発表しました。

足の都合で正座できなく、高見台で行いました。皆さん緊張しましたが、成果を発表できたようです。

終了時に会長の北野さんが退任されるので、花束を贈呈しました。

毎週金曜日と水曜日に彦三館でお稽古しています。初心者向けの教室です。覗いてみてください。お待ちしております。

北國芸術賞受賞者による志向の舞台を鑑賞して

高砂おりづる会　会長
102期2組　北　ミユキ

高砂おりづる会は日本民謡の踊りの会です。講師瀬尾明美先生の指導の下で1月「新春のつどい」や10月高砂生きがい演芸発表会では舞台踊りを披露させていただいております。

このたびは高砂おりづる会の野外授業を目的として企画し実行いたしましたのは、4月の29日（土）に開催されました第17回北國邦楽舞踊特選会を会員各々個別に観賞することでした。当日は開場の合図で入場し、観客席で期待を胸に開始の幕が開くのを待ちました。

北國芸術賞受賞者による至高の舞台であり、日本舞踊、箏曲、長唄、小唄、哥澤、素囃子笛で構成された十八番組芸の精髄が披露され、特別演目の舞踊常磐津「釣女」で観客を引き込む珠宝の芸に浸りました。

地元の古典芸能に深く感動を受け優雅で格調高い舞台を時間の経つのも忘れて見蕩れていました。

私達高砂おりづる会の会員はこのたびは北國邦楽舞踊特選会を観賞する機会を得まして、地元金沢の伝統芸能のレベルの高さを再確認致しました。

金沢市民として大いに地元を誇りに思う素晴らしい1日でした。